

ベトナムの電力事情

1. ベトナムの電力事業形態

ベトナムの電力事業は、ベトナム商工省の管轄のもと、国営電気事業者であるベトナム電力公社が発電・送電・配電一貫で行っている。

2. ベトナムの発電設備内訳

近年の相次ぐ大型火力発電所の運開を反映し、火力発電設備が約6割を占める。発電電力は、ほぼ全てをベトナム電力公社および独立発電事業者（IPP）の運営する発電設備に頼っている。

項目	ベトナム	日本	(参考：東京電力)
発電設備	1235.8万kW	27,553万kW	6,247万kW
水力	458.3万kW(37.1%)	4,737万kW(17%)	899万kW(14%)
火力	749.0万kW(60.6%)	17,634万kW(64%)	3,618万kW(58%)
原子力	-	4,947万kW(18%)	1,731万kW(28%)
その他	28.5万kW(2.3%)	235万kW(1%)	0.4万kW(0%)

(ベトナム・日本：2006年度末、当社：2007年度末)

3. ベトナムの電力需要

経済成長を反映して、最大需要、販売電力量は年々増加している。特に南部では海外企業の工場新設などで電力需要が急増しており、近い将来、電力不足に陥ることが懸念されている。

